

交通政策審議会陸上交通分科会鉄道部会  
東京圏における今後の都市鉄道のあり方に関する小委員会（第2回）  
議事概要

1. 日時・場所

平成26年6月30日（月）17時00分～19時00分  
中央合同庁舎2号館低層棟1階共用会議室3

2. 出席者

委員（敬称略）

家田仁、伊藤香織、岩倉成志、加藤浩徳、岸井隆幸、竹内健蔵、羽藤英二、村木美貴、屋井鉄雄、矢ヶ崎紀子

大田区

松原区長、幸田副区長、川野まちづくり推進部長、齋藤まちづくり推進部交通企画担当部長、山田まちづくり推進部交通企画担当課長

江東区

山崎区長、佐藤副区長、作田土木部長、平川土木部地下鉄8号線事業推進担当課長、村松土木部地下鉄8号線事業推進担当主任

3. 議事概要

○新空港線「蒲蒲線」について（大田区）

（松原区長あいさつ概要）

- ・羽田空港の増便等の動きの中で、グローバル化への対応や国際競争力強化のため、鉄道の整備が大変重要だと認識している。新空港線は、大田区にとどまらず、首都圏全体の利便性に大きな影響を与えるものであり、東京西部の特別区からもぜひ推進してほしいと、都知事宛に要望書も提出されている。また、首都直下地震に備え、アクセスの代替性といった防災の見地からも非常に重要であり、なくてはならない路線だと考えているので、よろしく願いたい。

（大田区説明概要）

- ・大田区では、新空港線が平成12年の運輸政策審議会答申第18号に位置付けられて以降、勉強会を実施するなど調査検討を重ねてきた。
- ・新空港線「蒲蒲線」は、東急多摩川線矢口渡駅—蒲田駅間から分岐し、京急空港線糎谷駅—大鳥居駅間で接続する新たな路線で、わずか800メートルの区間を短絡するだけで既存鉄道ネットワークのさらなる充実を図ることができる。
- ・整備価値としては、羽田空港と都心・副都心とのアクセス強化、国際都市東京の広域ネットワークの補強、沿線まちづくりの推進、防災機能の兼備（非常時等の代替ルート）などがある。
- ・現在、矢口渡から京急蒲田間について、京急蒲田地下駅を設置し、東急蒲田から京急蒲田まで東急線の線路を延伸することによって、2020年オリンピック・パラリンピックに間に合わせる事が出来ないか検討を行っている。なお、オリンピック・パラリンピック後に京急空港線に乗り入れる延伸工事も検討しており、最終的にはスムーズな移動を可能とすることにより空港アク

セスの利便性を向上させたい。

(委員の主な意見)

- ・新空港線は、東京西部も含めた広域的な効果が期待できると思う。
- ・羽田空港からの利用客はビジネス客が多く、朝の通勤時間帯の混雑が予想される。また、空港利用客は大きな荷物を持っている人も多く、京急蒲田の地下に設置する駅については、エレベーターの設置等による乗換の利便性の確保を図る必要がある。
- ・新空港線のみならず、既存路線内の乗換駅でも、大きな荷物を持った人が乗り換えやすくしていくことが必要。他の沿線区との連携も含め、検討してほしい。
- ・現在、京急蒲田と蒲田の間をバスで移動している人や、蒲田からバスで羽田空港へ向かう人も多いと思うが、需要の確保からも、人々が新空港線を利用したいと思ってもらえる良いプロジェクトとなることが重要。
- ・用地買収など課題は多いとは思うが、できればオリンピック・パラリンピックのようなイベントに間に合うように整備できればよりよい。
- ・この計画は、最終的には羽田空港とスムーズにつながる大切であり、オリンピック・パラリンピックに間に合わせる第一段階で終わるのでは不十分。

○地下鉄8号線延伸（豊洲～住吉）について（江東区）

(山崎区長あいさつ概要)

- ・地下鉄8号線延伸については、これまで葛飾区、墨田区、江東区、松戸市で協議した結果、第一段階としてまずは事業性の高い豊洲～住吉間を整備することとして検討を進めており、江東区では自ら基金も積み立ててきた。近年、東京東部地区は特に臨海部の発展が著しいが、東京東部を南北に走る地下鉄8号線延伸は、国際競争力強化の他、東京メトロ東西線の混雑解消、オリンピック後の跡地利用、築地市場の豊洲への移転等、様々な観点から重要と考えており、よろしく願いたい。

(江東区説明概要)

- ・東京の臨海部は、これまで予想を上回る人口の増加が進んできたが、今後は豊洲新市場や千客万来施設など大規模開発が予定されており、地下鉄8号線の沿線人口や交通量も急増することが見込まれている。
- ・東京東部の南北移動は速達性・快適性に欠けているのに加え、迂回路となる東京メトロ東西線などの路線では混雑状況が激しく、地下鉄8号線の延伸が緊急の課題となっている。
- ・整備効果として、東京メトロ東西線等の路線から臨海部への速達性向上や、東京東部で速達性に優れた南北交通軸の形成による都心への迂回の解消、臨海副都心等から押上や浅草方面までの観光回遊性の向上、オリンピック・パラリンピック開催地のまちづくりへの活用等のが挙げられる。

(委員の主な意見)

- ・地下鉄8号線の延伸によって、新しい豊洲地域のショッピングモールのエリアと砂町銀座のような北側の下町商店街の融和や両地域の発展につながるという面に注意することが必要だと思う。
- ・地下鉄8号線の延伸は、江東区の住民に限らず広いエリアでの便益があると思われるので、そういった効果をよく説明できるとよりよいと思う。
- ・同じく南北方向を走る都営大江戸線の整備によって、どのような効果があったかは、地下鉄8号

- 線延伸でも参考になると思う。また、臨海副都心とつながることはより大きな効果があると思う。
- ・地下鉄8号線延伸は、都内で初めて外国人観光客を強く意識した路線になるのではないか。臨海部の国際展示場でのMICEなど業務需要のアフターコンベンションという効果もあると思う。バリアフリーの徹底など「外国人にやさしい鉄道」にチャレンジしてもよい。
  - ・豊洲駅は利用者の急増に対応して改良が行われてきたが、更に今後の急増にも対応することが大切だと思う。

以上